

政策整理番号 2

評価シート(B)

対象年度	H17	作成部課室	保健福祉部医療整備課	関係部課室	
------	-----	-------	------------	-------	--

政策番号	1 - 1 - 2	政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり
------	-----------	-----	----------------------------------

施策番号	1	施策名	地域の中核的な病院の整備
------	---	-----	--------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効
概ね有効
課題有

【政策評価指標達成状況から】 判定不能
 ・指標名:入院患者の自圏域(二次医療圏)入院率 達成度 判定不能
 ・入院率は5年ごとの患者調査により把握しており次回は今年秋頃を実施する。

【県民満足度(政策)の推移から】 概ね有効
 ・政策満足度は50点だが、満足度60点以上の割合は41.6%と一定の満足を得ており、概ね有効と判断する。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】 有効
 ・平成16年度と平成17年度の病床利用率は公立刈田総合病院(78.35% 78.2%)、みやぎ県南中核病院(66.94% 70.98%)、栗原中央病院(70.9% 64.7%)となっており、病床利用の改善が進んでいることから有効である。
 ・市町村合併が進み、複数の自治体立病院が一つの自治体の管理下で運営されることで、今後、機能分担などが推進する。

【総括】
 ・政策評価指標は判定不能だが、県民満足度及び社会経済情勢から施策は有効と判断する。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	地域の中核的な病院整備推進事業	6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号,4号

適切
概ね適切
課題有

【国、市町村、民間団体との役割分担】 適切
 ・(国)医療施設等施設整備費補助金により補助している。
 ・(県)県としては、上記の補助金の他に地域の中核的な公的病院を重点的に支援している。
 ・(市町村)地域の中核的な病院は、市町村立及び組合立が多く救急医療やへき地医療など不採算性の高い医療サービスを提供している。
 ・(民間団体)市場経済の中で、経済合理性に則り各種医療サービスを提供している。
 ・本施策に係る事業群は、上記役割分担に沿って設定・実施されており県の関与は適切である。

【施策目的を踏まえた事業か】 適切
 ・地域の中核的な病院を支援することは、救急医療やへき地医療、リハビリテーション医療など特殊分野の充実に不可欠である。

【事業間で重複や矛盾がないか】 適切
 ・目的、対象者に応じ事業が適正に設定されており、重複や目的が矛盾する事業はない

【社会経済情勢に適応した事業か】 適切
 ・市町村合併が進むなど公的病院を取り巻く状況は激変しており、病病間及び病診間の連携・機能分担の推進は益々重要性を増している。その中心になる中核的な病院を支援することは時宜にかなう。

【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性) 適切
 ・医療サービスの特殊性から、かい離度(30)は高くなっている。県民の生命・健康に直結する事業であり一層の充実が必要である。

【総括】
 ・地域の中核的な病院は、救急医療及びへき地医療など民間医療機関によるサービスが不足している分野を運営しており、県としても平等の医療水準を確保するために支援することは必要であり、県の関与及び事業群設定の妥当性は適切と判断する。

評価シート(B)

政策整理番号 2

施策番号 1 施策名 地域の中核的な病院の整備

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効 概ね有効 課題有

【施策満足度から】概ね有効
 ・満足度は50点と低調であるが、本事業は病院の施設・設備への補助であり、県民の満足度は医師はじめ医療スタッフの数や対応態度など多くの要因に大きく左右されることから一概に有効性を論じられない。

【政策評価指標達成状況から】判定不能 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋
 ・最新の調査結果がないので不明。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】有効
 ・地域の中核的な病院(栗原中央病院(H13:205床 H14:277床)、公立刈田総合病院(H13:275床 H14:317床)、みやぎ県南中核病院(H13:135床 H14:300床))への病床及び機能の集積が進んでおり、病院経営と医療資源の効率性も確保されている。

【業績指標推移から】有効
 ・地域の中核的な病院(栗原中央病院、公立刈田総合病院、みやぎ県南中核病院、石巻赤十字病院:H18.5開業、404床)の移転新築は終了していることから、今後は医師の充足などソフト面の充実が期待される。

【成果指標推移から】判定不能
 ・最新の調査結果がないので不明。

【総括】
 ・県民満足度は低調だが、社会経済情勢データ及び業績指標からは有効性が確認できる。全体としては有効と判断する。

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的 概ね効率的 課題有

【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】判定不能
 ・最新のデータがないので不明。

【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】効率的
 ・病院の建て替えに併せ、栗原中央病院(H13:205床 H14:277床)、公立刈田総合病院(H13:275床 H14:317床)、みやぎ県南中核病院(H13:135床 H14:300床)の病床数を増加させるなど医療機能の集積に対応できるような施設にしており、業績指標の推移と相関が認められ効率的と判断する。

【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】判定不能
 ・3病院への補助額は償還表で確定しており平成17年度がピークであり、単年度の効率性指標だけで判定することは適切でない。

【総括】
 ・民間医療機関や小規模公的病院への支援では、十分な効果が期待できない救急医療及びへき地医療等を推進するためには、地域の中核的な病院を集中的に整備することが効率的である。
 ・政策評価指標から効率性は判断できないが、社会情勢データからは効率性が認められる。施策全体としては有効と判断する。

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・B-1地域の中核的な病院は、救急医療及びへき地医療など民間医療機関によるサービス供給が不足している分野を運営しており、県としても均衡ある医療水準を確保するために支援することは必要である。
 ・B-2医療技術の高度化や細分化が進展する中で、地域の中核的な病院は高度医療から地域医療まで幅広く対応し存在意義が益々高まっている。
 ・B-3民間病院や小規模公的病院への支援では、十分な効果が期待できない救急医療及びへき地医療等を推進するためには、地域の中核的な病院を集中的に整備することが効率的である。
 ・全国的にも医療資源の効率活用が求められており、中核的な病院を整備することは効率的医療体制の確立に有効である。
 ・上記B-1～3を総括して適切と判断する。

政策整理番号 2

事業分析カード(業績)

対象年度	H17	作成部課室	保健福祉部医療整備課	関係部課室	
------	-----	-------	------------	-------	--

政策番号	1 - 1 - 2	政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり		
------	-----------	-----	----------------------------------	--	--

施策番号	1	施策名	地域の中核的な病院の整備		
------	---	-----	--------------	--	--

活動(事業) / 活動(事業)によりもたらされた結果								
事業番号	事業名 【担当課室名】	H17 事業費 (千円)	事業の対象 (誰・何を対象として、具体的に)	事業の手段(内容) (何をしたのか、具体的に)	業績指標名 (事業の活動量。「事業の手段」に対応)	H15	H16	H17
						事業費(千円)		
						効率性指標 (3.5E-02は 3.5×10^{-2})		
1	地域の中核的な病院整備事業 【医療整備課】	415,993	地域の中核的な病院	病院の移転新築に係る借入金の元利償還金のうち、当該年度の支払いに要した額に対して財政支援をした。	財政支援病院数	3 413,465 7.3E-06	3 413,531 7.3E-06	3 415,993 7.2E-06
2	[]							
3	[]							
4	[]							
5	[]							
6	[]							
7	[]							
8	[]							
9	[]							
10	[]							
	[]							
	[]							
	事業費合計	415,993						

政策評価指標分析カード(整理番号1)

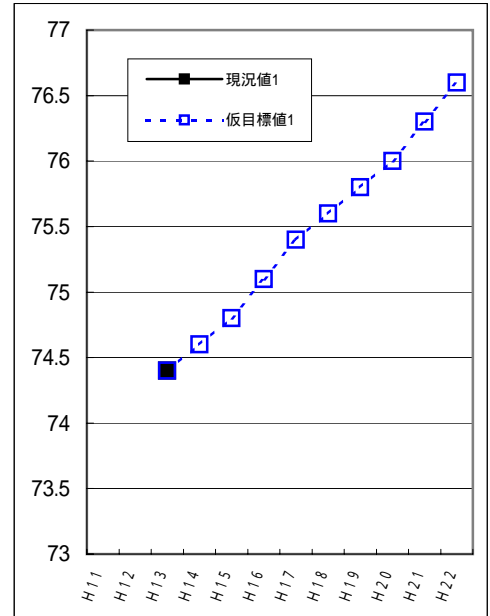
政策整理番号 2

対象年度	H17	作成部課室	保健福祉部医療整備課	関係部課室	
政策番号	1 - 1 - 2	政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり		
施策番号	1	施策名	地域の中核的な病院の整備		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位						
入院患者の自圏域内(二次医療圏内)入院率		%						
目標値	難易度	H17	75.4					
		H22	76.6					
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
測定年	H13	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
現況値 (達成度判定値)	74.4				74.4
仮目標値					74.4	74.6	74.8	75.1
達成度				

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

- ・病気やけがなどの事態が生じても、より身近な地域で高度な医療が受けられることが望ましい。
- ・病気やけがなどで入院する場合に、より身近な地域の医療機関に受け入れられることにより、本人や家族の負担が軽減できる。
- ・生活の基礎的な安心を提供することが、今住んでいる地域に住み続けることができるための条件である。

(3) 施策満足度の推移

年度	H17	参考: 第2~4回の推移	H16	H15	H14			
施策重視度(中央値、点)A	80	施策重視度 A	80	80	80			
施策満足度(中央値、点)B	50	施策満足度 B	50	50	50			
かい離 A-B	30	かい離 A-B	30	30	30			
満足度60点以上の回答者割合(%)	33.6	満足度60点以上の回答者割合	41.9	37.0	41.2			

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直しして実施しました。第2~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

達成度: ...
 ・各地域の中核的な病院の整備が進んでおり、各圏域ごとの医療提供体制が整備されてきている。今後継続して整備を進めることで、自圏域内入院率の向上が見込まれる。
 ・入院率は患者調査に基づき判明するが、次回調査は平成18年度に実施する予定。

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続

要検討

[施策の有効性を評価する上で適切な指標か]
 ・地域医療体制の充実を図るため地域の中核的な病院の整備を進めることで、身近な地域での医療の完結が図られ、入院患者の自圏域内入院率の向上が見込まれることから、政策評価指標として存続すべきと考える。

施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 2

対象年度	H17	作成部課室	保健福祉部医療整備課	関係部課室	
政策番号	1 - 1 - 2	政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり		
施策番号	1	施策名	地域の中核的な病院の整備		

C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

[政策評価] 施策群設定の妥当性, 施策群の有効性
 ・地域の中核的な病院に係る施設面の整備は、順調に進んでおり今年5月には石巻赤十字病院が移転新築したほか、大崎市民病院の建て替えについての地元協議も行われており事業の継続は今後も必要である。

[施策評価] 事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性
 ・地域の中核的な病院に係る施設面の整備は、順調に進んでおり今年5月で4病院が当事業を利用しており、残りの3病院中2病院についても地元協議が行われており、県としても均衡ある体制整備を推進するため協議がまとまるよう支援していく。

C - 2 施策・事業の方向性

施策の次年度(H19年度)の方向性とその説明

方向性	拡充	維持	縮小
-----	----	----	----

[方向性の理由]
 ・本施策の優先度は1位であり施策重視度80点、施策満足度50点とかい離度も高いことからさらに事業を推進する必要がある。

[次年度の方向性]
 ・地域において大崎市民病院及び気仙沼市立病院の改築が検討されており、地域の意向を聴きながら最良の支援方を検討していく。

主要事業・重点事業の次年度(H19年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名	H17決算見込額(千円)	方向性	方向性に関する説明
1	主	地域の中核的な病院整備推進事業	415,993	拡充	事業対象の4病院以外に対象が増加するよう、地域での協議を支援していく。
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
		合計	415,993		